



# むさし台

令和4年4月28日

No. 2

府中市立武蔵台小学校

校長 南條 吉男



<http://www.fuchu11s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

## 子ども達の心の変化に気付くために

校長 南條 吉男

新緑の若葉が色鮮やかな季節になってきました。4月6日の始業式、入学式から、まもなく一月が過ぎようとしています。私は毎日、正門や交通量が多い交差点に立ち、児童が登校している様子を見守っていますが、子ども達が少しずつ新しい環境に慣れてきていることを感じ、嬉しく思っています。



4月の一番初めの全校朝会で、子ども達に「1年間、元気な挨拶を心がけましょう。」というお話をしました。「一日の始まりは、気持ちのよい挨拶から。」私が学級担任をしていた頃から大切にしていることです。それは、朝一番の「おはようございます。」の一声とその時の表情で、そのお子さんの今朝の様子を感じ取ることができるからです。「今日もいつものように元気だな。」「あれ、今日は少し元気がないな。何か心配なことがあるのかな。」こちらが先に心の変化に気付くことができ、声を掛けることができれば、「今日」という一日の過ごし方をよい方向へ変えることができるかもしれません。

子ども達は、何か悩み事があっても、お家の方に心配をかけたくなかったり、先生になかなか言い出せなかったりと、大人が思っているよりも繊細です。学校や家庭、地域等、多くの大人で子ども達を見守り、きらきら輝く子ども達の笑顔があふれる学校にしていきたいと思います。

《 5月の詩 》

てれるぜ

かまきり りゅうじ

もちろん おれは

のはらの たいしょうだぜ

そうとも おれは

くさむらの えいゆうだぜ

しかしなあ

おれだって

あまつたれたいときも

あるんだぜ

そんなときはなあ

おんぶしてほしそうな

かっこになっちまってなあ

てれるぜ

てれるぜ

出典 のはらうた

今年度は5月から「詩の暗唱・音読」に取り組みます。特に「音読」の場合は、その詩のイメージを「間の取り方」「抑揚」「読む速度」「声の大きさ」などを工夫して、自分なりの表現の仕方を読めるといいなと思っています。同じ詩でも、読み方を工夫するだけで、様々なイメージが表現できます。

毎月、一編の詩を紹介していきますので、ご家庭でも、お子様と一緒に詩の暗唱や音読を楽しんでいただけたら幸いです。